



## 実力アップ勉強法



### 1. 受験生の冬休みは、どれだけ勉強したらいいのでしょうか。

今、学校では、多い日で午前4時間、午後2時間で、計6時間勉強しています。塾や帰宅しからの復習の時間を入れると、8時間は必要です。

この8時間を目標に、冬休みの日課表(計画表)を作ってみてはどうでしょうか。日課表を作る場合、睡眠は7~8時間取りましょう。食事もしっかり食べること。軽いジョギングなどの運動時間を確保する。勉強のあとに10分間の休み時間をとる。家で家事などの手伝いをする、テレビは時間を決めて見る、など生活や勉強のリズムがつかれるように工夫することが大切です。自分に合った日課表を作り、しっかり実行しましょう。

### 2. 重点をしぼった勉強を!

高校入試は基礎的なものが出題されます。基礎的なものは、すべて教科書の中に入っています。だから、教科書を中心に参考書をじっくり、ていねいに勉強することが大切です。

しかし、入試まで2ヶ月半。もう「ていねい」にやる時間はありません。短期間で基礎固めをするには、次の方法が有効です。

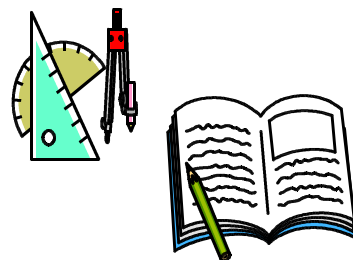
- ① 要点がまとめられた基本問題集を一冊買う。(うすいものでよい)
- ② その問題集を徹底的にやる。まちがえたところは、わかるまでやる。

このように、重点をしぼった勉強をすることです。

問題が完全に解けるまで何度もくり返す。そして、自分はできるんだ、という自信をつけていきましょう。

### 3. 入試問題で力試しをしよう！

いくら問題集で自信をつけても、入試問題の傾向がわからないと、何となく不安です。入試を制するためには、やはりその中身を知らなければ話になりません。そこで、過去5年間の入試問題を買ってきて、実際に解いてみましょう。その場合、ただ、のんびりとやっていたのでは、実力はアップしません。時計をセットし、制限時間内でやってみることで、50分で何点とれたか、実際にやってみて初めて自分の実力がわかります。どうしたら、時間内で多くの問題を解けるのか、という解き方のコツもわかるし、集中力もつきます。これも最低3回はくりくり返しましょう。



### 4. 総合テストへの備えも十分に！

冬休みは、”受験勉強だけ”というわけにはいきません。総合テストがあるからです。総合テストで3年の評価がなされ、内申点が決まります。県立高校の合否は、内申点が半分（開邦・那覇国際・首里・那覇などは別の比率）を占めるので、絶対、手抜きはできません。

総合テストは範囲がとても広いですが、1・2学期の定期テストや単元テストの問題を見たら、大体の出題傾向はわかります。ノートやワーク、プリント類を使って、もう一度勉強していきましょう。漢字や公式、年代など覚えるべきものは、確実に覚える。理解すべきところはくり返し読んで頭の中にたたき込む。先生が「大切だ」と言ったものも見逃さずにしっかり復習しておきましょう。冬休みは、大晦日、お正月と大変せわしい時期で、あっという間に過ぎていきます。今年の冬だけは、勉強第一で計画的に学習に取り組み、実力アップのために頑張りましょう！



# よいお年を！



良いお年を!

